

患者主体の在宅医療

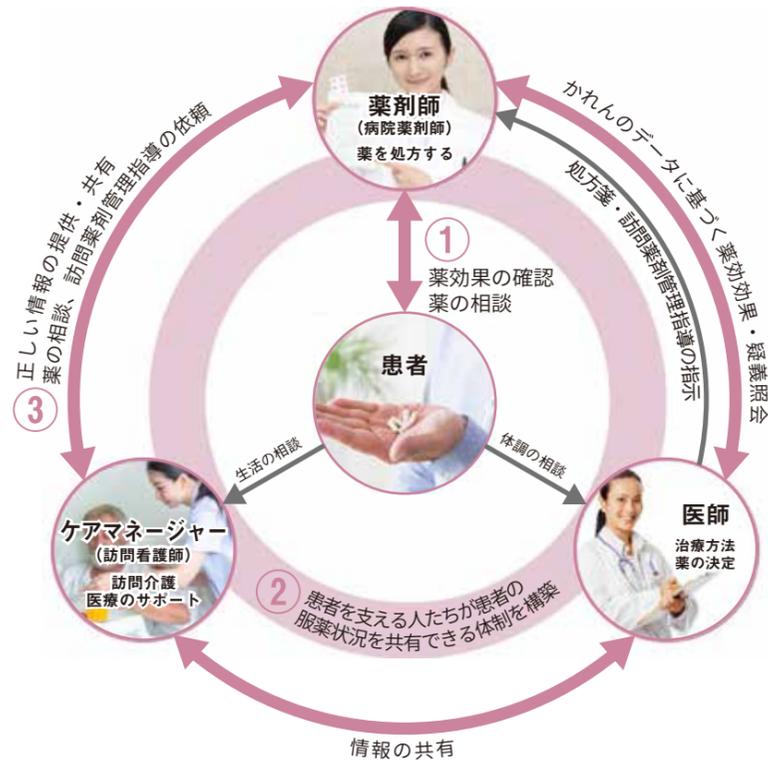
かれんで変わる効率的な連携

- 1 薬局と患者が繋がる。服薬状況や効能が簡単に見える、伝わる。
- 2 患者を支える人たちが服薬データを基に患者の状況を効率的に共有。
- 3 患者と関わりの深いケアマネジャーと薬局が繋がる。的確なケアプランで患者に合わせた質の高いサービスを提供。

ちょうどいい見守り感覚

患者、家族、薬局をつなぎます

薬局から患者に連絡をするだけでなく、患者家族が患者の服薬状況を見て薬局に問合せができるようになります。より多くの目で患者をフォローすることで、薬局の業務負担やリスクも低減します。



ご利用者様の声

山梨県のご利用施設様

薬局と施設担当者がリアルタイムで服薬状況を共有できることはとても素晴らしい。薬剤師にしかできない薬剤管理を目指しています。自立訓練施設の職員や利用者から電子服薬カレンダーを使ってみたいとの反響により、既に7名の患者様に実施。

都内北多摩薬剤師会様

緩和ケアに携わる患者様のご家族、医師、薬剤師、訪問看護師、介護士、全ての方に有益です。

豊島区役所・豊島区薬剤師会様、その他大学研究科

服薬継続と地域定着への有効性を評価いただきました。

ご利用の薬剤師様

患者さんが気に入って使っている。
自立度がある方に勧めたい(薬を飲もうとする意識付けができる)。
ポケットから取出した情報をリアルタイムに把握できることで、薬の効果を期待できる。

ご利用の患者様

薬剤師の方と週に1回お会いすることが嬉しい(訪問による薬の交換時)。
飲み忘れなどがあった場合、家族から電話がある。
薬を取出すことが私の仕事。見守る遠方の家族や薬局に安心してもらえる。
薬を取出すことで生活のリズムがつくれ、自分自身の安心感にもつながる。



ITを活用した服薬サポートシステム

eお薬カレンダー かれん



そうだ、
おくすり飲んだかな



販売代理店

製造販売元

LEAD リードエンジニアリング株式会社

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-27-1

TEL : 0422-40-6611 FAX : 0422-40-9611

Mail : karen@lead-eng.co.jp

<http://www.lead-eng.co.jp>

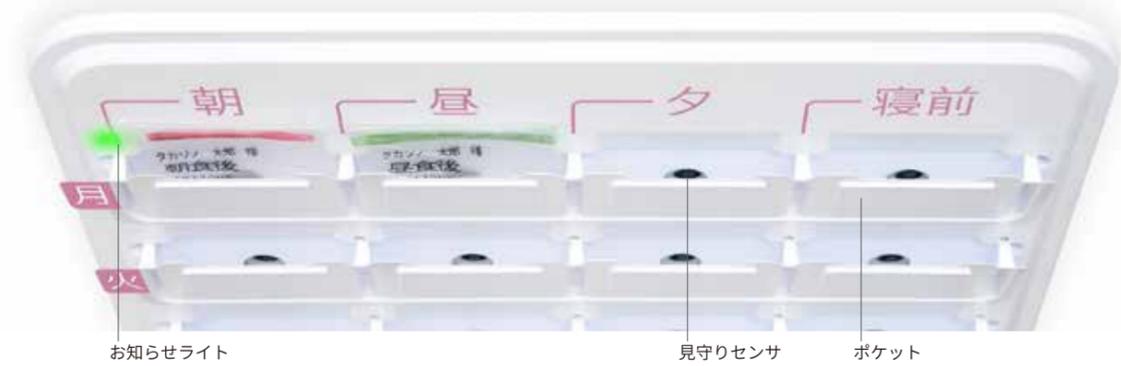


2021.11

自立支援に貢献

飲み忘れや飲み間違いを予防し 服薬遵守率を向上させます

薬包の挿入・取出しを「見守りセンサ」が感知。その時間を正確に通信・記録します^{*1}。服薬時間になると「お知らせライト」が点灯して飲むべき薬とタイミングを気付かせてくれます。飲み忘れなどは、薬局・担当者に自動で通知することも可能です。



患者と薬局の負担ゼロを目指して

患者宅に据え置く本体は、薬包を入れるポケットが並ぶ「お薬ホルダ」と、見守りセンサや通信機能などが備わる「かれんボード」から成ります。今まで通りの服薬方法と、より簡便な薬のセットを可能にします。

お薬ホルダ

薬局で薬をセットし、数週間分をまとめて届けることができます。ポケットの数は8日分(4回/1日)あるので定期的な訪問による薬の入れ替えが可能です。軽くてしっかり自立し、かれんボードへの取り付けも簡単。交換や買い足しも可能なので、常に清潔に利用できます。もちろん単独で服薬用のポケットとして利用することもできます。ポケットは1ヶ月タイプ(31日分)仕様もあります。

かれんボード

電源コードを繋ぐだけで準備完了。煩わしい設定は一切ありません。見守りセンサは、透明な薬包の有無も感知し、リアルタイムにサーバーと通信します。



かれん本体の仕様

ポケット数	朝・昼・夕・ねる前×8日分、計32個
見守りセンサ	反射型赤外線センサ(受発光素子)
お知らせライト	LED(発光ダイオード)
電源/消費電力	ACアダプタ(1.5W)
通信方式	LTE
外形寸法	縦560mm×横342mm×奥行35mm
重量	かれんボード:1kg、お薬ホルダ:300g

注)仕様・外観は予告なく変更する場合があります。

技術を使うヒトのために

従来のお薬カレンダーと同じ使い勝手になるように、高精度な技術や仕組みを開発(特許取得済)。かれんは、大学研究機関の臨床研究の現場でも活用されています。

認知症介護イノベーションコンソシアム CHIBA 理事長
国立大学法人千葉大学フロンティア医工学センター 副センター長
教授 医学博士・工学博士 兪文偉 先生
認知症介護支援機能「深度センサを用いた服薬過程モニタリングシステム研究への遠隔服薬システム「かれん」使用」による支援

服薬指導が変わる

患者の「服薬リズム」を見える化 データに基づく的確な服薬フォローが可能になります

専用のアプリで、薬包の有無を遠隔からリアルタイムに確認できます。複数台のかれんボードや患者毎の管理が可能で、服薬指導を効率化します^{*2}。履歴データの分析で、服薬リズムによる潜在的な問題の発見や解決に応用できます。



患者や業務形態に合わせた細やかな設定

患者や薬剤師を個別に管理できます。服薬のタイミングやアラートの設定など、管理状況に合わせて柔軟に設定できます。

業務別設定	一般業務 管理業務	担当患者登録・編集/服薬状況確認 患者一覧/担当者登録・編集 担当者一覧
主な機能	服薬情報 患者一覧	服薬状況/服薬履歴/服薬リスト/履歴出力 患者情報/ボード・担当者割り当て ポケット曜日設定/お知らせライト点灯設定 メール配信設定/服薬時間設定
	担当者一覧	担当者情報/メール受信設定

ソフトウェアの動作環境 : ウェブブラウザ (Google Chrome 推奨)

iOS 9.0 以降

iPhone、iPad、iPod touch 対応



改正薬機法による業務負担の解消

処方後の服薬状況がデジタルデータで記録されるので正確な情報を手間なく取得できます。

*1 改正薬機法【抜粋】薬剤師に対して購入者の使用状況の把握、購入者等への情報提供・指導及び情報提供・指導内容の記録をさせる等の義務が課せられる
*2 改正薬機法【抜粋】「住み慣れた地域で患者が安心して医薬品を使うことができるようにするための薬剤師・薬局のあり方の見直し」、(1) 薬剤師が、調剤時に限らず、必要に応じて患者の薬剤の使用状況の把握や服薬指導を行う義務及び患者の薬剤の使用に関する情報を他医療提供施設の医師等に提供する努力義務の法制化、(2) 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の認定制度の導入、(3) テレビ電話等による服薬指導の規定、薬局事業を営む企業は、(中略) 情報提供・指導内容の記録をさせる等の義務が課せられる点に注意です

きめ細やかなニーズに対応する開発連携

医学博士 渡邊泰雄 先生 横浜薬科大学 特任教授
総合健康メディカルセンターセンター代表
NPO 法人総合医療研究機構理事

薬学博士 重山昌人 先生 岐阜医療科学大学・大学院
保健医療学研究所 薬学部 薬学科
病態・薬物治療学分野 教授

薬剤師 池嶋謙 先生 横浜薬科大学 客員教授
株式会社中屋薬局 代表取締役
株式会社エスキューブ 代表

